

輝け！シン尾花沢中

第 1 1 6 号

令和 8 年

10 月 6 日

たたえるほほの 明るさよ ああ光よぶ 学びやに

自他の命を守るために～予告なしの避難訓練（地震）実施～

1 日（木）に、生徒への予告なしで

- ①地震発生時の身の守り方を身に付けさせる。
- ②休憩時間中の災害発生時の適切な避難経路を判断する。

ことを目的とした避難訓練が行われました。

休み時間に緊急地震速報が流れた後、揺れの激しい地震が発生したことを想定し、避難できる場所から外に出て、体育館の東側に避難しました。

私は、東側駐車場の本部で待機していました。

予告がなかったにもかかわらず、ほとんどの生徒は適切に避難することができていました。

一方、「落ち着いて」という指示があったからかもしれませんが、数名の生徒がおしゃべりしながら、ゆっくりと歩いて避難してきていました。

本当に起こるかもしれない大地震に備えての訓練であると認識すれば、自他の命を守るための行動は自ずと決まってくる、という話を生徒にはしたところです。

その後、教室に戻って動画を視聴し、①尾花沢は断層帯が多く、直下型地震が起こる可能性が高いことや②地震が起こったときの身の守り方について学習しました。

1 年 2 組の生徒の振り返りをいくつか紹介します。

倉兼さん：地震が起こらず安全に生活できている、ということが当たり前ではないことを感じました。日頃から、もしものためにしっかりと備えておきたいです。

大高さん：訓練と分かっているけど、静かに机の下にもぐり、頭を守ることができました。また、いつ大地震が来てもおかしくないことを再確認できました。

秋保さん：私は実際に、震度 6 や 7 の地震を体験したことはありません。みんなが持つ大切な命だから、自分で、皆で、真剣に命を守りたい、と思いました。

梅本さん：私はトイレから避難しました。少し話をしてしまいましたが、素早く避難・整列できました。なるべく、壁やガラスから離れて自分の身を守りたいです。

森さん：最初は本当の地震だと思って本気でしたが、「訓練」ということが分かり、気がゆるんでしまいました。「自分の命は自分で守る」という意志をもって訓練したいです。

いい振り返りができていて、安心しました。

【文責：校長 工藤雅史】

